

第5章 「第3次調布市子ども読書活動推進計画」策定後の取組・成果・課題

1 市立小学校・中学校		
項目	評価	第4次計画
(1) 読書活動推進計画の作成と実施	B	継続
(2) 学校図書館の運営と環境整備	B	継続
(3) 学校図書館専門嘱託員（学校司書）の配置と研修の充実	B	継続
(4) 学校図書館支援センター機能の充実	B	継続
(5) 読書の時間の確保と計画的な読書活動の推進	B	継続
(6) 学習支援機能の充実	B	継続
(7) 特別な支援を必要とする児童・生徒に配慮した読書活動の充実	B	継続
(8) 学校図書館資料の組織化とコンピュータによる管理	B	継続
(9) ボランティアとの連携・協力	B	継続

成果
<p>(1) ・多くの学校で学校図書館全体計画及び年間指導計画を作成しました。</p> <p>(2) ・コロナ禍において、各学校で感染対策（カウンターカーテンや仕切り板の設置、返却ポストの活用、貸出可能冊数の引き上げ・貸出期間の延長、分散した図書授業の実施等）を講じながら、児童・生徒の学びを止めないよう、学校図書館の運営に努めました。また、感染対策の事例について、情報共有を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の運用状況に関するアンケート調査を実施し、実態の把握や課題の抽出を行いました。 ・一部の学校で、調布市にゆかりのある武者小路実篤・水木しげるのコーナーを設けました。 <p>(3) ・教諭からの調べ学習資料提供の依頼など、授業へのサポート要請に対応しました。</p> <p>(4) ・学校司書の事務連絡会や研修会、学校司書と図書主任または司書教諭が参加する学校図書館運営連絡協議会を開催し、学校図書館活用の推進を図りました。また、学校司書の事務連絡会において、児童・生徒へ配布しているモバイル端末を活用した図書授業の事例紹介を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書が、最新の学校図書館用図書を直接手に取り、確認することができる図書展示会に参加し、図書購入の選定に役立てました。 ・市立図書館との連携協議会を開催し、団体貸出等に関する意見交換を行いました。 <p>(5) ・朝読書、ビブリオバトル[※]、読書記録等、読書活動を推進しました。</p>

- (6) ・調布市立小学校教育研究会と市立図書館が合同で作成したワークシート「図書館で調べものをするときに…」を改訂しました。
- ・「調布市防災教育の日[※]」では、「命」の授業において、子どもに「じしんがおきたらどうする」や「ぼうさいのおはなし」等をテーマに絵本や紙芝居を使って読み聞かせを行いました。
- ・一部の小学校では、児童が学校図書館で読んだ本の中から、印象に残った料理や食材のアンケートを図書委員会の児童が中心となってまとめ、学校栄養士と相談して、「ブックメニュー」として給食で再現し、その料理等が登場する本を紹介しました。
- (7) ・学級単位での市立図書館への訪問やおはなし会への参加、市立図書館の職員による学級訪問を実施しました。
- ・学校司書の読み聞かせや本の紹介等を実施しました。
- (8) ・平成13年度に資源共有化のために導入した図書搬送システムを活用し、学校図書館間や市立図書館との資料搬送を行いました。
- (9) ・ボランティアによる読み聞かせ・ブックトーク[※]・ストーリーテリング[※]・パネルシアター・人形劇などのおはなし会の実施や書架整理・図書の補修・装備、ポスターや展示物製作などの活動を行いました。

課題

- (1) ・学校図書館全体計画及び年間指導計画の実施状況の検証が必要です。
- (2) ・児童・生徒の発達段階に応じた適切な図書を選択し、蔵書数を十分に確保する必要があります。
- ・学校図書館が従来の読書センターの役割のみならず、学習・情報センターとして機能するためには、校内における協力体制が必要です。
- ・児童・生徒の学習用端末の普及に伴い、電子書籍の導入について、他市の状況等を踏まえて検討する必要があります。
- (3) ・小学校の大規模校では、授業の打ち合わせ時間が確保できないこともあり、学校司書の体制を検討する必要があります。
- ・学校司書が図書館運営を円滑に進めるため、研修が必要です。
- (4) ・学校図書館マニュアルの作成、学校図書館全体計画及び年間指導計画、図書リストの作成、選書、蔵書計画、読書指導や指導案作成への助言や、学校司書と教諭の連携した授業を指導できる司書教諭等を学校図書館支援の担当者として配置することが必要です。
- (5) ・絵本から読み物へ読む力を向上させ、文学作品・科学読み物等につなげることや、全ての学習への興味・関心を広げて、知的好奇心を高め、読書の質を高める取組が必要です。

- (6) ・学校図書館でどのような学習支援が必要か、教員と学校司書との連絡を密にする必要があります。
- (7) ・マルチメディアDAISY図書*や布の絵本等の活用が求められます。
- (8) ・更に使いやすい検索システムの整備と、情報環境の急速な変化にも対応できるデータベースの構築が必要です。
 - ・学校間の図書搬送体制を充実させる必要があります。
 - ・学校司書が情報共有するための場を確保するとともに、情報共有する環境を整備する必要があります。
 - ・学校司書が使用するコンピューターは、導入後年数が経過しており、今後、故障のリスクが高まることはもとより、オンライン会議などの新たな需要にも対応するため、機器の更新を行う必要があります。
- (9) ・ボランティアを対象とした研修の実施について検討する必要があります。

3 幼稚園		
項目	評価	第4次計画
(1) 市立図書館職員を講師にした保護者対象の絵本の読み聞かせ講座を検討します。	B	継続
(2) 地域の図書館や関係機関との連携・協力を一層強化します。	B	継続

成果
<ul style="list-style-type: none"> ・読み手の大人と聞き手の子どもが物語の世界をともに楽しむ時間を設けました。 ・市立図書館職員によるおはなし会と保護者を対象とした絵本に関する講座を実施しました。
課題
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で絵本の読み聞かせをすることが、親子の触れ合いの時間になり、幼児の心の栄養になることを伝える等、保護者への啓発が必要です。 ・保護者による家庭での絵本の読み聞かせの継続・充実の支援が必要です。

4 保育施設		
項目	評価	第4次計画
(1) 市立図書館のリサイクル図書を有効活用する等、保育園の読書環境を整備します。	B	継続
(2) おはなし会や団体貸出等、市立図書館と連携を図ります。	B	継続
(3) 保護者に対しては、大人からわらべうたを歌ってもらったり、	B	継続

絵本を読んでもらったりすることが、親子間で様々な感動を共有できる機会となり、親子関係の育みのひとつにもなること等を伝え、読書の啓発に努めます。		
(4) 東京都認証保育所に対しても、定期的に市立図書館を利用するように促していきます。	B	継続

成果		
(1) 市立図書館のリサイクル図書を有効活用しました。		
(2) 園だよりやクラスだより等で保護者へ絵本の紹介や読み聞かせの有用性を伝えました。		
課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・園児が本に親しむ機会を増やすため、各保育室に、0歳児から5歳児までの発達段階に即した絵本を備えていますが、更に充実させる必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症の流行により市立図書館を利用できない期間がありました。感染対策を講じながら市立図書館との連携を図っていく必要があります。 		

5 児童館		
項目	評価	第4次計画
(1) 市立図書館や関係機関、ボランティア団体との連携の中で、多彩な読書活動の展開に努めます。	B	継続
(2) 児童館の図書室を充実させます。	B	継続
(3) 購入図書のほか、市立図書館のリサイクル図書を有効活用します。	B	継続
(4) 工作・遊びなどの活動に、物づくりの楽しさを伝える本を取り入れ、協力して作り出す経験を重ねて、子どもの創造する力を育みます。	B	継続

成果		
市立図書館からのリサイクル図書を活用し全ての児童館の図書集会室をリニューアルすることができました。		
課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせについてはコロナの影響で事業を中止するなど実施できないところがありました。 ・乳幼児親子、小学生、中高生世代など利用者が幅広いため、それぞれの利用者のニーズに応えることができるような児童館図書室の充実が必要です。 		

6 公民館		
項目	評価	第4次計画
(1) 子育て支援のための家庭教育講座の中で、絵本をテーマとした学びの講座を継続して実施します。	B	継続
(2) 今後も、子どもの成長に合わせた本や絵本を学習することをテーマとした成人学級の活動を支援し、読み聞かせ会の会場を定期的に提供します。	B	継続

成果
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長に合わせた本や絵本を学習することをテーマとした成人学級の活動を支援し、読み聞かせ会の会場を定期的に提供しました。 ・子育て中の保護者に対して、市立図書館が実施する子どもの読書に関する出前講座を勧めました。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 一部の公民館では、図書に関する企画展を開催し、開催期間にあわせて図書館司書による未就学児とその親を対象としたおはなし会を継続して実施しました。 (2) 一部の公民館では、オープンスペースにある本棚に児童書を置き、貸出を実施しました。
課題
<ol style="list-style-type: none"> (1) 一部の公民館では、絵本の読み聞かせを行っていた成人学級が、活動を終了したため、新たな成人学級の発掘、育成が必要です。 (2) 一部の公民館では、オープンスペースの児童書の貸出件数が減少しているため、利用促進など対策を検討していく必要があります。

7 放課後子供教室事業「ユーフォー」		
項目	評価	第4次計画
(1) 保護者・学校・地域の関係者の方々に協力を得ながら、各小学校の「ユーフォー」における読書活動を推進します。	B	継続
(2) 市立図書館からの団体貸出を利用し、「ユーフォー」で子どもが図書をいつでも手に取ることができるような環境を整備します。	B	継続
(3) 工作・遊びなどの活動に、物づくりの楽しさを伝える本を取り入れ、協力して作り出す経験を重ねて、創造する力を育みます。	B	継続

成果

<ul style="list-style-type: none"> ・プレイルームでは、購入図書のほか、市立図書館からのリサイクル図書も有効活用しています。 ・ボランティアによる読み聞かせを実施しました。
課題
<ul style="list-style-type: none"> ・高学年の児童の利用につながるようなプログラムの充実が必要です。

8 子ども家庭支援センターすこやか		
項目	評価	第4次計画
(1) 市立図書館の団体貸出やリサイクル図書を有効活用します。	B	継続
(2) 乳児交流事業や子育て支援講座において、引き続き、市立図書館職員によるブックスタートや絵本の読み聞かせをテーマにした会を設け、子どもの読書活動について保護者へ啓発します。	B	継続

成果
<ul style="list-style-type: none"> (1) 市立図書館の団体貸出を利用し大型絵本や紙芝居を事業に活用しました。 (2) 乳児交流事業コロコロパンダにおいて市立図書館職員によるブックスタートを実施しました。また、新型コロナウイルス感染防止のため ZOOM を使用し、オンラインでも実施しました。
課題
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭等で絵本の読み聞かせをすることは、親子の触れ合いの時間になり、乳幼児の心の栄養になることを伝える等、保護者への啓発を推進する必要があります。 (1) 市立図書館のリサイクル図書の活用や待合コーナーでの絵本の設置など新型コロナウイルス感染防止のため中止している事業があります。感染拡大状況を考慮しながら実施を検討していく必要があります。

9 保健センター		
項目	評価	第4次計画
(1) 妊婦への絵本ギフトを継続します。	B	継続
(2) 市立図書館と連携し、集団健康診査等で保健センターに来所する親子にブックスタート事業を継続します。	B	継続

成果
(1) 一人一人に絵本を紹介し贈呈する、妊婦への絵本ギフトを実施し、乳児期からの読書体

<p>験につなげました。</p>
<p>課題</p>
<p>・家庭で乳幼児にわらべうたを歌ったり、読み聞かせしたりすることの大切さを伝える等、保護者への啓発を推進する必要があります。</p>

10 子ども発達センター		
項目	評価	第4次計画
(1) 子ども一人一人の興味や状態にあった資料を活用します。	B	継続
(2) 市立図書館との連携によって実施しているおはなし会や団体貸出を継続し、充実させます。	B	継続

<p>成果</p>
<p>(1) 小物を取り外せる布の絵本など、子どもの興味を引き出す資料を活用し、子どもの発達の促進を図りました。</p> <p>(2) 大型絵本や布の絵本等の市立図書館からの団体貸出により、読み聞かせの幅が広がり、子どもの本への興味が広がりました。</p>
<p>課題</p>
<p>・発達に遅れやかたよりのある児童に適した本を選定する必要があります。</p>

11 青少年交流館		
項目	評価	第4次計画
<p>青少年が気軽に本に触れ、読書習慣を身に付けるきっかけとなるよう、読書の場を提供します。</p>	B	拡充

<p>成果</p>
<p>館内に本を置き、青少年が気軽に本を手にとれるようにしました。</p>
<p>課題</p>
<p>市立図書館と連携しておすすめの図書の掲示やリサイクル図書の活用、読み聞かせ等も読書活動の推進を検討していく必要があります。</p>

12 東京都立調布特別支援学校		
項目	評価	第4次計画
(1) 市立図書館等によるおはなし会や団体貸出など、地域との積極的	A	拡充

な連携を図ります。		
(2) 東京都立多摩図書館との連携を図ります。	B	拡充
(3) 調布市立中央図書館を訪問し、読書活動に関する情報交換を実施した。	B	継続

成果
<p>(1) ・市立図書館の職員が来校し、小学部1年生から中学部3年生までにおはなし会を実施しました。児童生徒が本に触れる機会が増え、興味が広がりました。小学部高学年では、図書館利用学習を実施し、本を借りる体験学習を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書週間に団体貸出を利用しました。大型絵本や布の絵本を借りることで、教員による読み聞かせが充実しました。 ・市立図書館を訪問し、読書活動における情報交換などを行い、次年度計画の参考としました。 ・市立図書館からのリサイクル図書を活用しました。 <p>(2) 選書相談会へ参加し、新刊図書の情報及び学校における読書活動の実践方法、図書の配架の工夫について相談しました。校内図書館、図書コーナーの配架、環境づくりに役立てました。</p>
課題
<p>(1) ・小学部1年生から中学部3年生まで段階的に図書館利用ができるよう学習設定をする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員や地域の方々による読み聞かせや手遊びの機会を多くもつことにより、絵本への興味を広げ、言語活動の充実を図ります。 ・地域の公共施設利用学習のために児童生徒が市立図書館を訪問し本の貸出しを体験することで、保護者への啓発、将来の余暇活動につなげます。 ・デイジー図書について、校内読書週間で紹介し、児童生徒の実態に応じた利用の機会をつくり、市立図書館のデイジー図書を活用します。 <p>(2) (3) 感染症対策を講じながら、読書活動の工夫を行いながら推進します。</p>

第6章 学校・行政の取組・計画

1 市立小学校・中学校

<p>(1) 読書推進計画の作成と実施</p>	<p>市立小・中学校では、学習指導要領及び教育課程に基づき読書指導を位置付け、学校経営方針に従って、図書主任または司書教諭を中心に全教職員による読書活動を充実させています。</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館全体計画及び年間指導計画の実施状況の確認と振り返りを進めていきます。 ・学校生活の中で児童・生徒が調べ学習を効果的に進め、読書に親しむことができる環境を整えていきます。 																
<p>(2) 学校図書館の運営と環境整備</p>	<p>学校図書館は、教育課程の展開に寄与するとともに、児童・生徒の興味や関心にこたえて基本的な教養を身に付けることができる場です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒や保護者の読書への関心を高める広報活動として、学校図書館だより・読書新聞等の広報紙面の充実を図っています。 <p>調布市立学校図書館蔵書数 (冊)</p> <table border="1" data-bbox="547 887 1305 1048"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成31年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>252,429</td> <td>255,341</td> <td>259,033</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>108,440</td> <td>110,089</td> <td>111,167</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>360,869</td> <td>365,430</td> <td>370,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>*各年度の「調布市立学校図書館状況報告書」の数値を基に作成</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校長の指示の下、図書主任または司書教諭を中心に、学校図書館担当教員・学校司書・その他の学年主任、教科主任等の教職員の協議の場である学校図書館運営委員会を設置し、連携体制を推進します。 ・児童・生徒の図書委員会を可能な限り複数の担当教職員が指導し、活発に活動できるようにします。 ・保護者や地域住民によるボランティアの協力を得て、読み聞かせなどの読書活動を実施するほか、学校図書館の環境整備を推進します。 ・読書環境の整備に向けて関係部署との協議・調整を積極的に図ります。 ・学校のホームページに学校図書館を紹介するなど、広報活動をより一層充実させていきます。 		平成31年度	令和2年度	令和3年度	小学校	252,429	255,341	259,033	中学校	108,440	110,089	111,167	合計	360,869	365,430	370,200
	平成31年度	令和2年度	令和3年度														
小学校	252,429	255,341	259,033														
中学校	108,440	110,089	111,167														
合計	360,869	365,430	370,200														
<p>(3) 学校司書の配置と研修の充実</p>	<p>平成14年度以降、調布市内のすべての市立小・中学校に、学校司書（司書又は司書教諭有資格者）が配置され、司書のいる学校図書館が実現しました。学校司書は、学校図書館運営の司書業務全般において大きな役割を果たしています。</p> <p>学校司書が配置された当初は1日5時間、週3日勤務でしたが、勤務日数等の見直しを行い常時開館・常時対応できる体制づくりを推進しています。</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書の選書*能力を高め図書主任または司書教諭との合同の研修を行うことにより情報を共有し、授業をサポートする力の向上 																

	に努めます。
(4) 学校図書館支援センター機能の充実	<p>教育会館内に学校図書館支援センター機能を設け、学校司書の相談窓口や橋渡しを行い、学校図書館の運営がスムーズにいくように支援しています。</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館で育った子どもが市立図書館の利用者へと繋がっていくために、引き続き学校図書館と市立図書館及び各機関との連携等を進め、学校図書館支援センター機能の充実を図ります。
(5) 読書の時間の確保と計画的な読書活動の推進	<p>多くの小・中学校で、朝の一斉読書の時間や図書の日など、学校生活の中で児童・生徒が本を読むための時間が確保されています。</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員や学校司書、保護者が、読書の時間に、読み聞かせ、ブックトーク[*]、ストーリーテリング^{**}等を取り入れることで、児童・生徒に本の楽しさを伝え、本への関心を更に高めていきます。 ・読書週間や読書月間の設定、「子ども読書の日」の行事や集会、休み時間や放課後を利用したおはなし会、読書クイズ、ブックリスト「本のたからばこ」（小学校）、「ほんとのであい」（中学校）の作成など、読書活動活性化のための多彩なプログラムを提供します。
(6) 学習支援機能の充実	<p>学校図書館が児童・生徒の学習を支えるためには、教育課程に寄与する資料の体系的・計画的な整備と組織化が求められています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の調べ学習については、百科事典・国語辞典・図鑑・年鑑の使い方を1年生の入門指導から中学年・高学年へと段階を踏んだ指導が行われています。 ・中学校では、修学旅行の事前学習、職業、国際理解、オリンピック・パラリンピック等、学習のテーマにあわせて資料を提供しています。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の調べ学習については、「図書館で調べものをするときに…」の活用等により一層充実させていきます。 ・「総合的な学習の時間」をはじめ、各教科等の資料の活用、委員会活動、部活動等の教育活動における学校図書館機能の利用等を通して、学習支援機能の整備を更に図ります。 ・「調布市防災教育の日[*]」では、親子ともに災害に対する備えや防災意識を高める本にも関心を持ってもらえるよう、授業内容を充実させ、市民へ情報提供を行います。
(7) 特別な支援を必要とする児童・生徒に配慮した読書活動の充実	<p>児童・生徒の障害の状態や特性に配慮した図書を選定して、教室に備えるとともに、市立図書館から布の絵本^{**}等の資料提供を受け、子どもの本への興味を引き出しています。</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在実施している読書活動を更に充実させていきます。
(8) 学校図書館資料の組織化とコンピュータによる管理	<p>学校図書館においては、図書の受入れ・整理・除籍（廃棄）、貸出しや返却がコンピュータ管理されています。</p> <p>学校図書館及び市立図書館をはじめとする関連機関や団体がネットワークを組むことが必要であるという文部科学省の方針に基づき、調布市では平成13年度に資源共有化のための図書搬送システムを導入しました。</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検索システムの整備とデータベース構築の推進を図ります。 ・学校図書館の資料の組織化を進め、相互利用できる体制を更に充

	実らせていくために、学校図書館間の搬送が円滑に行われるようにしていきます。
(9) ボランティアとの連携・協力	<p>多くの小・中学校で、保護者等による子どもの読書推進に関わるボランティア活動が活発に行われています。</p> <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司書教諭や学校司書をコーディネーター役として、様々なボランティア活動を実践する保護者等との協力関係を保ちます。 ・学校と教育委員会指導室、市立図書館等、教育委員会各部署との連携を強化して情報交換に努め、子どもの読書活動に関わる研修会や交流会を開催する等、今後も計画的・継続的に活動を支援します。

2 市立図書館

市立図書館は、市民であれば誰でも利用することができる開かれた場所です。子どもが気軽に立ち寄り、読書や調べものや疑問の解決ができるよう、子どもの生活に根ざした魅力的な施設を目指します。子どもと本とのかけがえのない出会いを支援するために、様々な機会をとらえて本を紹介するとともに、読書を楽しむきっかけが得られるような事業を実施していきます。

3 幼稚園

幼稚園では幼児期の成長・発達に配慮しながら質の良い絵本を選び、読み聞かせを更に充実させていくことにより、子どもの健やかな成長の基礎をつくる重要な時期における読書習慣の形成を図っています。

幼稚園における取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「園だより」等で保護者に読書に関する情報を提供しています。 ・「子ども読書の日」（4月23日）や読書週間等の行事、講座・講演会等を通して、子どもの読書活動推進について啓発を図っています。 ・絵本の読み聞かせで園児を物語の世界へいざない、目と耳からの読書体験によって本に興味を持たせています。 ・読み手の大人と聞き手の子どもが物語の世界をともに楽しむ時間を設けています。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭で絵本の読み聞かせをすることが、親子の触れ合いの時間になり、幼児の心の栄養になることを伝える等、保護者への啓発に取り組みます。 ・保護者による家庭での絵本の読み聞かせの継続・充実の支援に取り組みます。 ・市立図書館職員を講師にした保護者対象の絵本の読み聞かせ講座を検討します。 ・地域の市立図書館や関係機関との連携・協力を一層強化します。
-----------	---

4 保育施設

保育園では、一日の活動のなかで、絵本の読み聞かせ等を実施しています。絵本の読み聞かせは、子どもの想像力を豊かにし、期待感や探求心の芽生えにもつながる等、園児の心の成長に欠かせないものとなっています。

保育施設における取組	<ul style="list-style-type: none">・保育士が絵本の読み聞かせや<u>パネルシアター</u>※、紙芝居の上演等を毎日実施しています。・子育て支援活動・地域交流事業の一環として、保育園主催で子どもの読書についての講座を実施しています。・多くの保育園で、定期的に市立図書館を利用し、おはなし会や団体貸出の実施等、連携を図っています。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none">・市立図書館のリサイクル図書を有効活用する等、保育園の読書環境を整備します。・おはなし会や団体貸出等、市立図書館と連携を図ります。・保護者に対しては、大人からわらべうたを歌ってもらったり、絵本を読んでもらったりすることが、親子間で様々な感動を共有できる機会となり、親子関係の育みのひとつにもなること等を伝え、読書の啓発に努めます。・東京都認証保育所に対して、定期的に市立図書館を利用するように促していきます。
------------	---

5 児童館

児童館では、職員やスタッフ、ボランティア、専門講師等による読み聞かせなどの読書推進活動が行われています。また、児童館には図書室があり、子どもが本に親しむ場となっています。

児童館における取組	<ul style="list-style-type: none">・「子ども支援スタッフ」（成人ボランティア）の朗読サークルによる「おはなしの会」や人形劇など、地域の協力体制があります。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none">・市立図書館や関係機関、ボランティア団体との連携の中で、多彩な読書活動の展開に努めます。・児童館の図書室を充実させます。・購入図書のほか、市立図書館のリサイクル図書を有効活用します。・工作・遊びなどの活動に、物づくりの楽しさを伝える本を取り入れ、協力して作り出す経験を重ねて、子どもの創造する力を育みます。
-----------	--

6 公民館

公民館では、子育て支援のための家庭教育講座の中で絵本をテーマとした学びの講座を行

うほか、連続講座の一部に手作り絵本を作る体験を組み入れることも行っています。

公民館における取組	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援のための家庭教育講座の中で絵本をテーマとした学びの講座を継続して実施します。 ・今後も、子どもの成長に合わせた本や絵本を学習することをテーマとした成人学級の活動を支援します。 ・図書に関する企画展やおはなし会などを実施します。
-----------	--

7 放課後子供教室事業「ユーフォー」

放課後子供教室事業「ユーフォー※」は、子どもに自由で安全な遊び場・居場所を提供し、異なる年齢の児童間の交流を図り、遊びを通して社会性や創造性を養うことを目的としています。子どもが本に親しめるよう、図書をいつでも手に取ることができる場を提供しています。

放課後子供教室事業における取組	<ul style="list-style-type: none"> ・プレイルームでは、購入図書のほか、市立図書館からのリサイクル図書も有効活用しています。 ・ボランティアによる本の読み聞かせを実施しています。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・学校・地域の関係者の方々に協力を得ながら、各小学校の「ユーフォー」における読書推進活動を推進します。 ・工作・遊びなどの活動に、物づくりの楽しさを伝える本を取り入れ、協力して作り出す経験を重ねて、創造する力を育みます。
-----------------	---

8 子ども家庭支援センターすこやか

「子ども家庭支援センターすこやか」は、子育てを総合的に支援するための拠点として、様々な事業を展開しています。遊びに来た子どもが自然に本に手を伸ばせる環境づくりのために、乳幼児や小学生に向けて図書コーナーを設置しています。

子ども家庭支援センターすこやかにおける取組	<ul style="list-style-type: none"> ・一時預かり事業や乳幼児交流事業、また開放事業などの場で、職員がわらべうたを歌ったり、絵本の読み聞かせを行っています。 ・市内のボランティア団体による、毎月定例のおはなし会を開催しています。 ・乳児交流事業「コロコロパンダ」や子育て講座事業「エンゼル大学」で、図書館職員によるブックスタートや絵本の読み聞かせをテーマにした会を設けています。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館の団体貸出やリサイクル図書を有効活用します。 ・乳児交流事業や子育て支援講座において、引き続き、図書館職員によるブックスタートや絵本の読み聞かせをテーマにした会を設け、子どもの読書活動について保護者へ啓発します。
-----------------------	---

9 保健センター

健康推進課では、母子保健に関する事業を実施する中で、子どもとその保護者に対して子どもの心身の健やかな発達を促し、よりよい安定した親子関係を築けるように絵本に接する機会を提供しています。

保健センターにおける取組	<ul style="list-style-type: none">・「ゆりかご調布事業」で、妊婦に、赤ちゃんと一緒に繰り返し読んで楽しめる絵本をプレゼントしています。絵本については、市立図書館と連携して選定しました。・1歳6か月児健康診査では、市立図書館と連携して図書館推薦の本のリストを配付しています。・新型コロナ感染予防対策のため、3歳児健診での絵本の読み聞かせや閲覧コーナーを中止しました。・3・4か月児健康診査で、赤ちゃん絵本と市立図書館作成のリスト「赤ちゃんは絵本がだいすき！」を配付しています。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症予防対策を行うとともに市立図書館と連携し、集団健康診査等で保健センターに来所する親子にブックスタート事業を継続します。・妊婦への絵本ギフトを継続します。
--------------	---

10 子ども発達センター

子ども発達センターは、発達に遅れやかたよりのある乳幼児の早期発見と早期支援を実践する専門機関であり、通園事業の活動の一環として、絵本の読み聞かせや布の絵本を使った遊びを実施しています。

子ども発達センターにおける取組	<ul style="list-style-type: none">・小物を取り外せる布の絵本の特性を活かして、子どもの興味を引き出し、発達の促進を図っています。・市立図書館と連携し、おはなし会を実施したり、団体貸出を利用したりしています。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none">・発達に遅れやかたよりのある児童の興味や発達段階にあった資料を活用します。・市立図書館と連携し実施しているおはなし会や団体貸出の利用を継続し、子どもが本に親しむ環境を充実させます。
-----------------	--

11 青少年交流館

調布市青少年交流館は、青少年が交流する居場所として、共有スペースやパソコンコーナーを開放しており、子どもが本に親しめるよう、図書をいつでも手に取ることができる場を提供しています。

青少年交流館における取組	<ul style="list-style-type: none">・多目的室内等に市立図書館からのリサイクル図書等を配架しています。 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none">・青少年が気軽に本に触れ、読書習慣を身に付けるきっかけとなる
--------------	---

	<p>よう、読書環境の場を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの図書の掲示を行います。 ・市立図書館からのリサイクル図書を用い、館内の本の定期的な入替えを行います。
--	---

12 東京都立調布特別支援学校

子どもの将来の自立と社会参加に向けて、主体的に生きる力を育てることを目標に、就学前から高等部への移行を見据えた教育を行っています。小・中学部設置の特別支援学校として、一人一人に合った読書活動を展開しています。

<p>東京都立調布特別支援学校における取組</p>	<p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館等によるおはなし会や団体貸出など、地域との積極的な連携を図ります。 ・東京都立多摩図書館との連携を図ります。
---------------------------	--